

普通の内科医、 地域医療に沼る

京丹後市立弥栄病院内科
京都府医師会屋根瓦ワーキングチーム

大阿久 達郎

地域で頑張る医師とは

自然を愛し

自己犠牲の精神で医療に貢献する・・・

今回はそういう話ではありません

今日の目的

田舎で働くって、

そこまで特別なことじゃない

そう思っていただけたら



大阿久 達郎

生年月日

1984年8月19日(42歳)

出身地

大阪府寝屋川市

趣味

旅行、気象予報

資格

総合内科専門医
総合診療特任指導医
プライマリケア認定医・指導医
消化器内視鏡専門医
消化器病専門医
気象予報士

京丹後市について



基本データ

2004年6町合併で市制施行
面積 501.44km²
人口 49456人
高齢化率 38.2%(2021年)
気候 冬には積雪

特産品

丹後ちりめん
果物（メロン、梨など）
海産物（特にカニ）

京丹後市の病院について



市立病院が2つ
民間病院が2つ

医学部入学まで

気象予報官への諦め

物理が壊滅的にできず

就職氷河期

あの姉が苦労するなんて

資格の力を借りたくて医学部受験

医学生時代

効率重視に過ごす

部活もバイトもそこそこに

縦割りの弊害

呼吸器？循環器？

総合診療は食いつぱぐれない！





空より衝撃だったこと

「お疲れさま」

挨拶に、反応が返ってくる

こういうところで働きたい

離島で教わったこと

降圧薬

VS

漬物

圧勝

病気だけでなく、暮らしごとと診る

実際に働いてみて

地域医療が楽しくなる

丹後出身の妻との出会いが、決定打

今後も丹後で働きたい

都会での5年間

消化器内視鏡

指導してくれた先輩
地域の人顔

訪問診療

患者さんの人生に触れる
丹後では少ない在宅看取り

地域で求められることを学ぶ

教科書には病気が、地域医療には人生が載っている

「元気です」

入院させられないよう、
元気なふりをしていた

メロン

毎年7月の高カリウム血症
原因はお隣さんの愛情

機の声

モニター音ではなく、
自宅の機織り機のを

同じ病気でも、生き方も価値観も家族の形も全部違う

医師会のイメージ

地元の名士

ゴルフ

自分には関係のない世界と思っていた

京都府医師会の研修医向けイベント

研修医オリエンテーション

4月開催
京都府内の全研修医を集め開催

臨床研修屋根瓦塾KYOTO

夏・冬の年2回開催
定員50名がすぐに埋まる
人気企画

Re-1グランプリ

秋開催
京都府内の若手指導医に
よるプレゼン大会

臨床研修屋根瓦塾KYOTO

医局・病院の垣根を越えて

大学病院

市中病院

地域病院

京都府
医師会

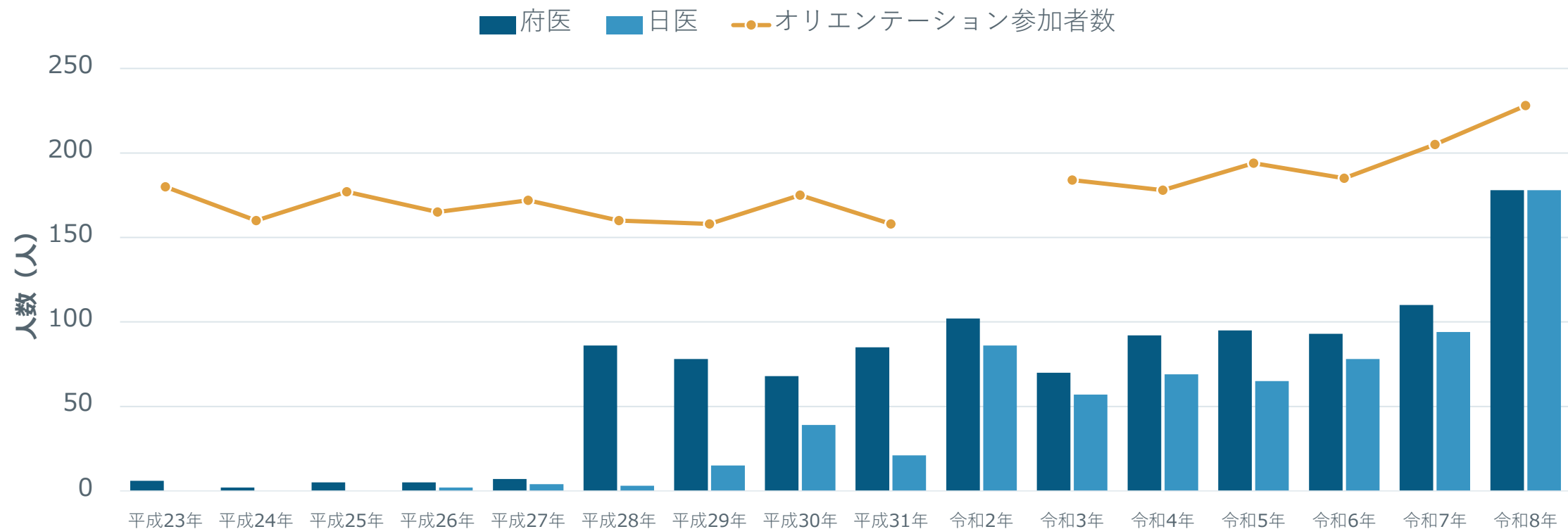
教わった側が、教える側へ

研修医として学ぶ

指導医として教える

医師会だからこそハブとなれる

初期研修医1年目 入会数推移



平成23年
オリエンテーション開始

平成28年
研修医府医無料化

平成30年
日医会費減免開始

令和5年
KMA.com開始

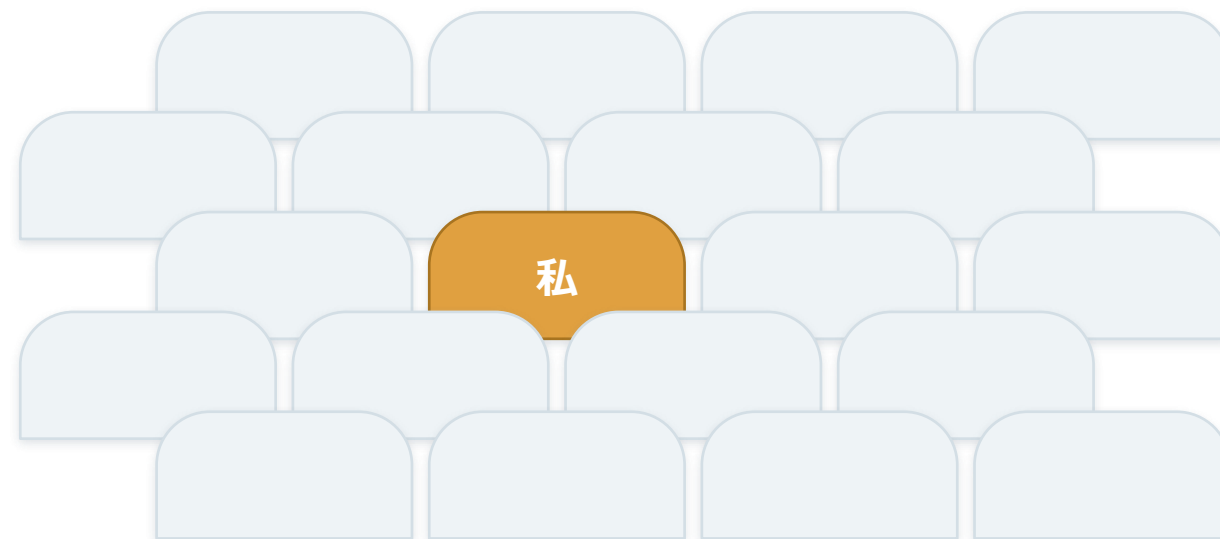
令和7年
スクラブ配布開始

※オリエンテーション参加者数：令和2年は中止、令和3～6年はweb開催

気づけば、教える側に

まさか、
瓦の一枚になるとは

誘われて参加しただけの一人だった



上が下を教え、その下がまた下を教える

私たちの何気ない一言が、次の世代の選択を左右している

「医師多数県」の中の丹後

医師偏在指標

京都府 326.6

2位_{/47}

丹後 162.8

京都府の半分以下
下位3分の1に区分

なぜ若手が田舎に来ないのか

専門性

環境

激務のイメージ

田舎ならではの大きな魅力もある

一番非効率だと思っていた医療が、

一番効率的だった

一人の患者を最初から最期まで、一人の医師が丸ごと引き受ける

これからの目標

- 1 丹後の医療を、今より良く
- 2 若手が育つ場所に
- 3 弥栄病院が、必要とされ続ける

私にできるのは、田舎の医療人を育てること

志は後から

出会いが先にあり、
志を育ててくれた

この沼、

なかなか居心地がいい

入るのに体力も気合いも一切いりません

ご清聴ありがとうございました